



原子力だより

The Niigata Prefecture Nuclear Power Newsletter

Vol.
155
(R5.6)



提供：柏崎市

飯塚邸：秋幸苑と行在所（柏崎市）

史跡・飯塚邸は、大地主として地域経営に貢献した飯塚家の邸宅であった後、平成13（2001）年に柏崎市に寄贈されたものです。昭和22（1947）年10月、昭和天皇が新潟県を巡幸された際に「行在所（あんざいしょ）」として飯塚邸に滞在されました。滞在時にご覧になった庭園は、天皇陛下より「秋幸苑（しゅうこうえん）」の名を賜ったという歴史があります。

秋幸苑は変化の多い池庭を中心とした池泉回遊式になっており、石燈籠や景石、多様な植物により、四季折々の情景を楽しめます。

CONTENTS

TOPICS（注目情報や主な出来事） p.2

- 健康・生活委員会（健康分科会）の検証報告書がとりまとまりました。
- 柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境影響を調査しています。
- 原子力防災教室 Vol.1

環境放射線監視調査結果等 p.6

- 環境放射線監視調査結果速報（令和5年1月～3月）

その他 p.8

- 柏崎原子力広報センターからのお知らせ
- アンケートに答えてプレゼントが当たる！読者アンケート

健康・生活委員会（健康分科会）の検証報告書がとりまとまりました。

令和5年3月24日、健康・生活委員会（健康分科会）がとりまとめた福島第一原発事故による健康への影響に関する検証結果について、鈴木座長から知事に報告していただきました。

〈鈴木座長の説明要旨〉

- 報告書の主な項目は、放射線被ばくによる健康リスクや健康被害の基本的な内容と、福島第一原発事故における甲状腺への影響等を検証した内容と提言の3つ。
- 原子力発電所の安全神話や想定外の事故であったことなどによって、事故後の初期活動が遅れたことから、検証に必要な被ばく線量等のデータがあまりなく検証が困難だった。
- 原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）がまとめた報告書の原文では、福島第一原発事故の被ばくによる甲状腺がん等への健康リスクについては、明確に結論付けず慎重な姿勢を取っているため、健康への影響は長期的に考えていく必要がある。



〈花角知事の発言要旨〉

- 5年半に渡り丁寧な議論をしていただいて、徹底的に詰めていただいたと認識している。
- 初期の対応に非常に問題があったのではないかと指摘を踏まえ、どう体制を作っていくのか対応を考えていきたい。
- いただいた検証結果を、県民が原子力とどう向き合っていくかの議論に生かしたい。

福島第一原発事故に関する3つの検証の総括について

県では、「福島第一原発事故の原因の検証」、「福島第一原発事故による健康と生活への影響の検証」、「原子力災害時の安全な避難方法の検証」の3つの検証を進めてきました。令和5年3月に健康分科会の報告書の提出を受け、すべての報告書がとりまとまりました。

今後、県がこれらを取りまとめる作業を行ってまいります。その結果については、今後の柏崎刈羽原子力発電所に関する議論の一つの材料として県民の皆様にお示しします。

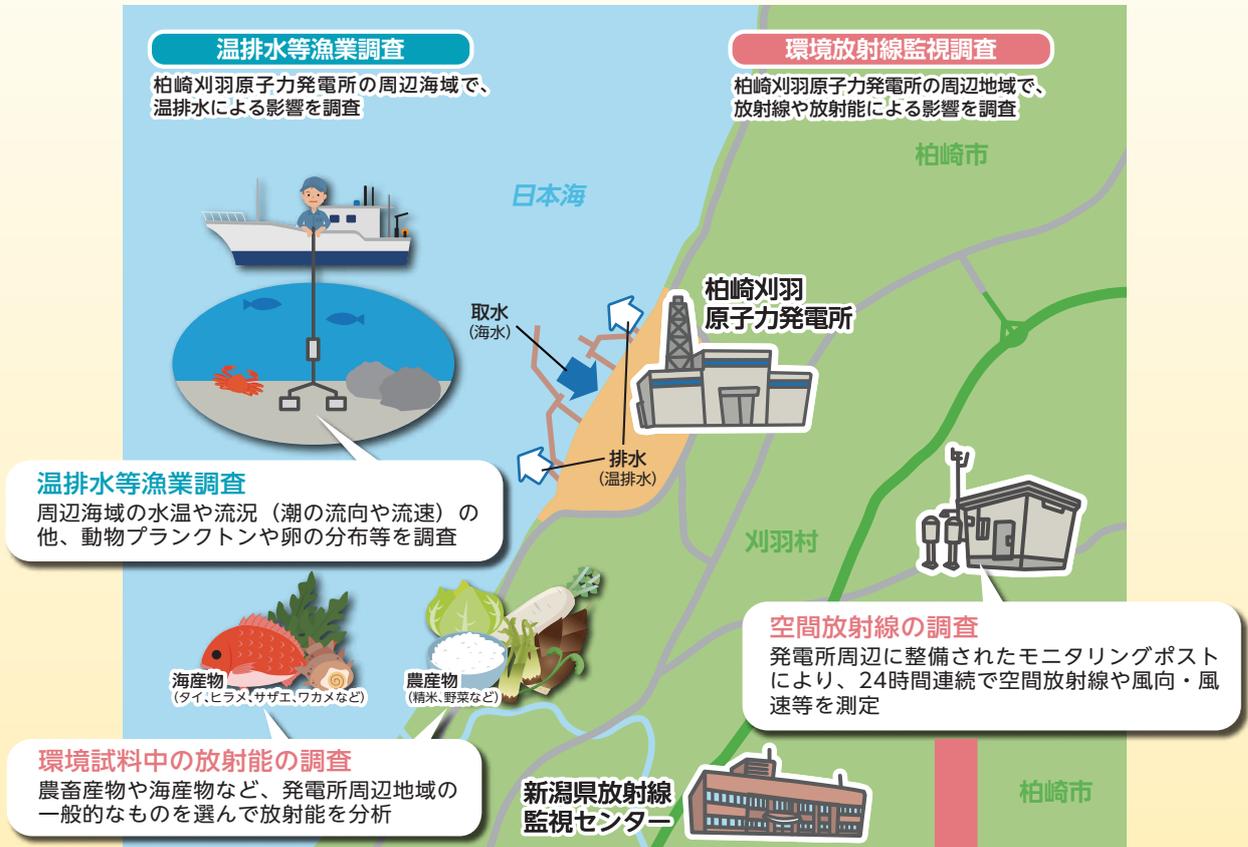


3つの検証の報告書はこちらをご覧ください。

柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境影響を調査しています。

県や東京電力は、柏崎刈羽原子力発電所が周辺環境に与える影響を確認するため、発電所周辺の「**環境放射線監視調査**」と「**温排水*等漁業調査**」を実施しています。

※温排水：発電所の運転時に発生する蒸気等の冷却に使われた海水。取水時より高い温度で海水に排水されます。

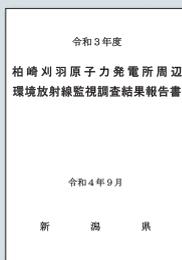


調査の様子について、次号以降の原子力だよりで紹介します。

調査結果の公表

報告書の公表

毎年、調査結果報告書を取りまとめホームページで公表しています。環境放射線監視調査については、四半期毎に速報を取りまとめ、本誌においてもお知らせしています。(p.6～7 参照)



リアルタイムデータの公表

県内各地の空間放射線量をホームページで公表しています。スマートフォン用アプリでは、お住まいの地域周辺の空間放射線量を手軽に確認いただけます。

スマートフォンアプリのダウンロードはこちらから



評価会議と意見公募

県や東京電力の調査計画や調査結果については、専門家等で構成される評価会議で確認いただき、柏崎刈羽原子力発電所による周辺環境への影響を評価していただいています。毎年度の環境影響の評価の案については、翌年度の7月頃に県のホームページ等において、県民からの意見を公募しています。



原子力防災教室 Vol.1

あらすじ

昨年4月に柏崎市内に引っ越してきた令子。災害への備えや原子力災害時にとるべき行動について、友人であるトキミに改めて教わりながら、学んでいきます。

登場人物(架空)



令子 女性 会社員

柏崎市内に引っ越してきて1年がたった。日本酒が大好きで新潟での生活を満喫している。トキミとは友人。



トキミ 女性 県職員(原子力安全対策課)

住民の皆さんに、万一、原子力発電所で事故が起こった際にとるべき行動を理解してもらいたいと思っている。

自然災害に対するご家庭での備え

日頃の備えが肝心です



最近地震や大雨のニュースが多いから、災害に対する備えが十分か不安だわ。

そうね、じゃあ**まずはどの災害にも共通する備え**から説明するね。まず**食料と水は最低でも3日分、できれば7日分**準備があると良いわね。



食料と水はある程度準備してあるよ。

さすが令子。それから、自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになるから、**非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておいて、いつでも持ち出せる**ようにしておくが良いわね。あと、**自家用車の燃料をこまめに満タンにしておく**ことかしら。



日頃の備えの例



他にも



災害時の家族内の行動の確認



自家用車の燃料確保



こまめな満タン給油なんて、意識しておかないと忘れそうね。

他にも、県では、スマートフォン上で手軽に地域のハザード情報を確認できる**防災アプリ「新潟県防災ナビ」**を運用しているわ。アプリでは県内全域の洪水・土砂災害・津波などのハザードマップを確認したり、避難情報などの必要な情報をプッシュ通知で受け取ることが出来るのよ。



アプリで情報収集出来ます！【新潟県防災ナビ】

- ハザードマップ確認
- 最寄りの避難所検索
- 市町村からの避難情報の受取
- 気象台からの気象情報の受取
- リアルタイムデータ確認(河川水位、河川カメラ、土砂災害危険度)
- 安否情報の登録



▲ダウンロードはこちらから



原子力発電所で事故が起きたら…

まずは情報収集



もし、発電所で事故が起きた時にやるべきことをおさらいしたいんだけど、まず何をしたらいいんだっけ？

日頃の備えについては、自然災害に対する備えと同じね。発電所で事故が起きた時は**まずは正確な情報を集めること**よ。原子力発電所で事故が発生した場合、県や市町村が、発電所の状況や放射線による影響について、様々な手段を使って情報を伝えるわ。



もし、事故の状況が悪化したら!?

事前に確認! 避難計画



そうそう、まずは正しい情報を入手することが大切なのよね！それで、状況が悪化した場合に備えて、避難計画があるんだっけ？

そうね、**事故の状況に応じて、何をすべきかあらかじめ決めて**いるの。何をするかは、**住んでいる地区によって違って**いて、県や市町村では、**避難計画**としてまとめているの。具体的なことは今度（次号）紹介するわね。



そうだったわね。まず、避難計画を知ることが大切よね。わかりやすいガイドブックもあるんだっけ？

そうなの。市町村では原子力防災ガイドブック等でわかりやすくお知らせしているわ。避難で大切なことは、住民一人一人が適切に行動することなの。



さっそく、柏崎市のガイドブックをしてみるわ。

詳細はこちらから
PAZ・UPZ市町村の
原子力防災ガイドブックも
ご覧になれます。



原子力や放射線に関する正しい知識を持つことも災害への備えの一つよ。例えば、柏崎原子力広報センターではお子さんでも学べるような展示や実習も行っているの。



なるほどね。今度の休みに家族みんなで行ってみるわ。ありがとうトキミ！またわからないことがあったら教えてね！

柏崎原子力広報センター (p.8でご案内)



放射線に関する実験の様子



アトミューひろば

スタンプラリー開催中

原子力発電や放射線について学びながらスタンプをゲットしよう！スタンプを押した台紙はシールになるよ

NEW 新潟工科大学の学生さんが製作した
体験型展示 (ゲーム) も新登場

環境放射線監視調査結果速報 (令和5年1月～3月)

新潟県では、安全協定に基づき、柏崎刈羽原子力発電所周辺で空気中の放射線の量や野菜・水などの環境試料に含まれる放射能を調査しています。調査結果は以下のとおりです。

1 空間放射線

※ここでは、測定値を「1Sv=1Gy」で換算して表示しています。

①空間放射線量率

結果：一部の地点で対照期間の測定値を超えました。これは降雨により、天然放射性核種が地上に降下したためと考えられます。

モニタリングポスト（11局）で空気中の放射線の量を連続測定しています。（単位：μSv/時）

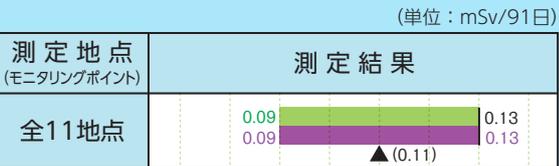


・県内の通常の変動の範囲：0.016～0.16μSv/時
 ⑤発電所北局、⑥発電所南局、⑦赤田町方局、⑩土合局は、事前調査期間に測定を開始していないため、赤線の表示はありません。

②積算線量

結果：一部の地点で対照期間の測定値を超えましたが、天然放射性核種による空間放射線の変動等によるものであり、発電所の影響ではないことを確認しています。

空気中の放射線が3か月でどれくらいの量になるかを発電所周辺地域内の11地点で測定しています。（単位：mSv/91日）



※事前調査期間における第4四半期の測定値は昭和58年度の1回です。自然変動の影響が反映されていないことから比較対象としていないため、赤線の表示はありません。

2 環境試料中の放射能

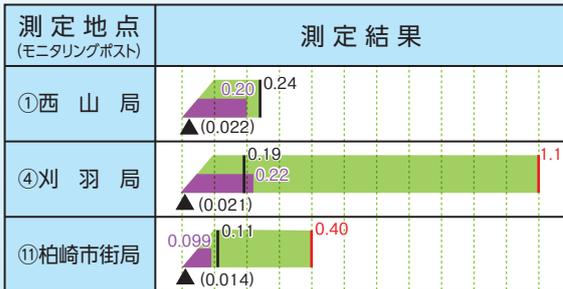
①全ベータ放射能測定

結果：刈羽局で対照期間の測定値を超えました。調査の結果、これは、天然放射性核種の影響によるものと考えられます。

試料中の放射性物質が放出するベータ線を測定し、おおよその放射能レベルを求めています。

浮遊じん(※)

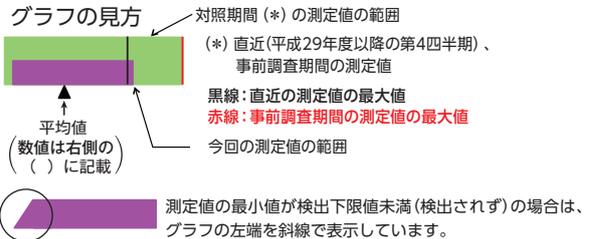
(単位：Bq/m³)



(※)「浮遊じん」とは空気中のほこりです。これを6時間収集し、5時間後に測定しています。5時間後に測定するのは、自然放射能(ラドン崩壊生成物によるもの)の影響を少なくするためです。

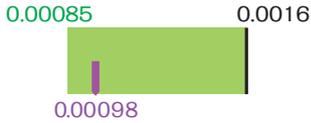
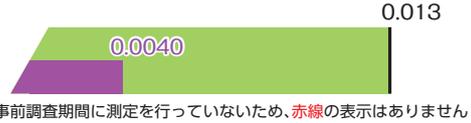
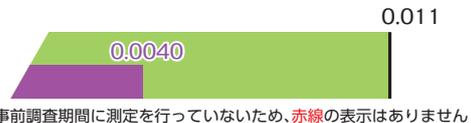
①西山局は、事前調査期間に測定を開始していないため、赤線の表示はありません。

グラフの見方



②核種分析 (セシウム137、トリチウムなどの放射性物質の種類(核種)毎に放射能を測定)

結果：下記のとおりです。

調査核種	試料名	測定結果	単位
放射性セシウム 放射性ヨウ素 など [調査試料名] ・〈浮遊じん〉 ・〈降下物〉 ・〈陸水：飲料水、原水〉 ・〈畜産物：牛乳〉 ・〈指標生物：ホンダワラ類〉	—	セシウム137 など 検出されませんでした	—
ストロンチウム90 [調査試料名] ・陸水：飲料水 ・畜産物：牛乳	 飲料水		Bq/L
	 牛乳		
トリチウム [調査試料名] ・大気：監視地域 ・大気：対照地域 ・〈陸水：飲料水、原水〉	 大気	トリチウム(監視地域)  事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/m ³
	トリチウム(対照地域)  事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません		
プルトニウム [調査試料名] ・〈浮遊じん〉 ・〈降下物〉	—	プルトニウム239+240 検出されませんでした	—

・〈青字〉の調査試料から、人工放射性核種は検出されませんでした。
 ※牛乳のストロンチウム90の測定値は計数誤差を考慮すると対照期間の範囲と同程度でした。
 測定値：0.023±0.003Bq/L (対照期間の最大値：0.022Bq/L)

単位

放射能の量

Bq
[ベクレル]

物質が放射線を出す能力。1秒間に1個の原子核が崩壊するときは1Bqの放射能といえます。天然放射性物質のカリウム40は、成人男性(体重60kg)の体内に約4,000Bqあります。



m[ミリ]=1,000分の1 μ[マイクロ]=100万分の1

放射線を受ける物質に吸収される量
【Gy:グレイ】



放射線の量

Gy
[グレイ]

放射線が空気などの物質に吸収される量をエネルギーで表す単位です。

Sv
[シーベルト]

人間が放射線を浴びたとき、どのくらい影響を受けるかを表す単位です。人間は普通に生活していても自然界から1年間で約2.1ミリシーベルト(日本平均)の放射線を受けています。なお、1Sv=1Gyで換算することができます。

過去の監視調査結果や県内のモニタリングポストの測定値は、下記のホームページをご覧ください。

【モニタリングポストの測定値】新潟県環境放射線監視測定データ公開サイト
<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp>

【過去の監視調査結果】放射線監視センター
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/houshasen/>

お問い合わせ先：県原子力安全対策課放射線監視係 TEL.025-282-1697

柏崎原子力広報センターからのお知らせ

原子力出前講座を開催します。

「放射線の基礎」や「原子力防災の基礎」について、町内会などに伺い、分かり易い講座を行います。
また、原子力講座についてのリモート講座（Zoom）による受講も可能ですので、開催を希望される団体は、柏崎原子力広報センターまでご連絡ください。

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会を傍聴できます。

◆◆◆ 今後の定例会の開催予定 ◆◆◆

開催日	時間	場所
7月5日(水)	18:30～	広報センター研修室
8月2日(水)		
9月6日(水)		

定例会の開催状況等は必ずお問い合わせください。

※ホームページはこちらから

新潟県 地域の会

検索



〈上記事業や施設利用に関するお問い合わせはこちら〉

公益財団法人 柏崎原子力広報センター

新潟県、柏崎市、刈羽村、出雲崎町から受託して様々な事業を行っています。

住所 柏崎市荒浜1丁目3番32号

TEL 0257-22-1896

FAX 0257-32-3228

時間 9:00～16:30 休館日 月曜日・年末年始

E-mail info@atomuseum.jp HP https://www.atomuseum.jp

※ホームページはこちらから

アトミュージアム

検索



家族みんなで遊びに来てね!

展示物、ライブラリーもあるよ!

お気軽にお越しください

アンケートに答えてプレゼントが当たる!

読者アンケート

原子力だよりについてのご意見をお寄せください。抽選で5名にエコバッグをプレゼント!
以下に記載のURLまたはQRコードよりWebからご応募ください。

アンケートURL <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/atom-info.html>

締切 令和5年8月31日(木)

発表 当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



イラスト拡大

新潟エコバッグ 抽選 5名

新潟の魅力イラストをまとめたシンプルなデザインのエコバッグ(黒地)です。

【個人情報の取扱いについて】

ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの抽選・発送および個人が特定されない形で統計資料の作成に利用します。

〈本紙に関するお問い合わせはこちら〉



制作・発行

新潟県防災局

原子力安全対策課

新潟県

令和5年度 広報・調査等交付金事業

住所 〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

E-mail ngt130030@pref.niigata.lg.jp

TEL 025-282-1696

FAX 025-285-2975

HP https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/